

フォーラムの手伝いをするようになって、一年ちょっと。教育にも文化にもゾウケイがアサイ私、運営委員とは名ばかり。週1回の運営委員会に参加しているものの、半分以上分かっていない。そんな私だが、ニュースの編集作業では活躍(?)している。

編集作業は、倉林運営委員長を中心に進められている。私がしているのは、PCのwordを使用して、執筆者の皆さんが苦勞して書かれた文章に写真やイラストを入れるだけ。だが、この「入れるだけ」がなかなかスムーズにいかない。

「あと1mm右、う〜ん2mm下かなあ。あつ、タイトル文字と写真が重なっちゃった!あれっ?ここに入れた筈の写真がない!2頁で収めないといけないのに1行はみ出てる!」

ただ写真の位置を数ミリ動かすだけで時計の針が一周していることもしばしば。まあ、私の数ミリのこだわりは、「いい、いい、そんな細かいことは!」と瀧口デスクに一蹴されるのだが。

さて、そんな編集作業を経て、印刷・発行。出来上がったニュースを見て、ほっとするとともに、ドキドキ、そしてガッカリする。

印刷前には原稿に入力間違い等がないか、運営委員のみなどで目を凝らして確認をする。特に“間違い字が飛び込んでくる”という内藤先生

の厳しいチェックを出来る限り受けるようにしている。しかし、締め切り間近になると、そのチェックを通過しないまま印刷作業に入る原稿も出てくる。そして発行後、内藤先生から必ず指摘を受けることに…。ニュース発行直後は先生が口を開くたびドキドキしている。

編集作業は初めに書いたとおり、PCでしている。原稿執筆者から頂いた貴重な写真も、取材先で撮影した写真も鮮明なものを見ながらである。しかしながら、会員の皆さんにお届けするニュースは白黒印刷。出来上がったものを見ると人物の顔の判断も難しい不鮮明な写真に…。ガッカリ。

フォーラムの財政上、カラー化は難しい。そこで、是非我が“ぐんま教育文化フォーラム”のホームページを見ていただきたい。更新が遅れがちではあるが、ここではニュース記事が鮮明な写真とともに読める。PCのメールチェックのついでに <http://homepage2.nifty/g-kyoken> もご覧あれ。

## ニューフェイス

今号から長谷川陽子さんがニュースの取材や編集作業に加わってくれた。“非教員”、30代。私とともに、退職教員が中心のフォーラムでは異色だ。フォーラムが更にまた開かれた。

## 今後の主な予定

- 11月 3日(木) 14時50分〜 肥田舜太郎さん講演会(前橋プラザ元気21、1階)
  - 11月 5日(土) 13時30分〜 子どもとメディア研究部会(フォーラム)
  - 11月19日(土) 14時〜 「原発と自然エネルギー」学習会-前橋市小水力発電所等の見学
  - 11月25日(金) 13時〜 教育ネットワークぐんま事務局会議(フォーラム)  
14時15分〜 群馬県教育委員会の傍聴
  - 11月26日(土) 14時〜 近現代史ゼミ(高崎市労使会館)
  - 12月 3日(土) 13時30分〜 子どもとメディア研究部会(フォーラム)
  - 12月17日(土) 14時〜 「わいわいフォーラム」
  - 12月20日(火) 12時〜 教育相談部会
  - 12月25(日)〜26(月) 歴史教育者協議会・関東ブロックゼミナール(磯部温泉)
- ※運営委員会は毎週金曜日。スタジオ楽書会は第1、3金曜日、13時〜(フォーラム)。

### 育ちと学び No. 10 発行：ぐんま教育文化フォーラム

〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 教育会館内  
(TEL・FAX) 027-235-8876 (IP電話) 050-3419-3803  
(E-mail) g-kyoken@nifty.com (HP) <http://homepage2.nifty.com/g-kyoken>